

■欧州：再生可能エネルギーの増大に伴うループフローが統一市場形成の障害に

欧州エネルギー規制者評議会（CEER）の会長は2012年1月31日、欧州経済社会委員会のエネルギー会議で、ドイツなどからのループフロー（迂回潮流）は域内エネルギー市場の発展に対する1つの障害だと述べた。ドイツは北部の風力発電により発電した電力を南部へ送る十分な送電容量がないため、ポーランドやチェコの系統にドイツ北部からの電力が流れ込むループフローが発生している。また、会議に出席した欧州委員会のエッティンガー理事もこの考えに同調し、ポーランドがドイツから流れ込む電力の受け入れを拒むことが必ずしも不当だとは言えないとの見解を示した。現在、欧州委員会は欧州内の国際連系線の拡充に取り組んでおり、同理事は、2014年から2015年に欧州委員会などによるインフラ問題の検討を含む欧州のエネルギー戦略の見直しが行われるとした。